

折に触れ 四字熟語

NO. 214 〔硝煙弾雨〕 しょうえん だんう

< 意味 > 銃弾を撃ち合う激しい戦い。戦闘が激しく繰り広げられるさま。

表 言 : ○硝煙弾雨の中 ○硝煙弾雨をものともせず

用 例 : もっとも、世の中も、硝煙弾雨の時代に入っていた。<獅子文六・青春怪談>

語 釈 : 「硝煙」は火薬の煙。発砲によって出る煙。「弾雨」は銃弾が雨のように降り注ぐさま。

一 言 : 毎日のテレビ報道で見るウクライナ軍とロシア軍との戦いに何とか早く収まって欲しいと胸を痛めています。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」